



進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第3号

令和4年7月20日 発行

高等部2学年前期産業現場等における実習(校外実習)

高等部2学年は、6月27日(月)～7月8日(金)の10日間、「前期産業現場等における実習」を行いました。各企業・事業所での活動を通して、自分の得意なことや課題に気付くことができたと思います。今回経験したことを、今後行われる後期の実習や進路選択・決定に活かして欲しいと思います。進路選択や実習の目標は一人一人異なりますが、「働く」意識を身に付けるための大切な学習の場になりました。なお、産業現場等における実習は、企業、事業所のご厚意により行われています。

<実習先・活動内容の一例>

種類別	企業・事業所名	活動内容
一般企業	株式会社マルト 小名浜包装資材	品出し、補充、在庫管理 商品(食品トレイ等)のピッキング
就労継続支援B型事業所	虹のかけはし 工房けやき	段ボール作業、パン作り 調理器具洗い、弁当の盛り付け
生活介護事業所	アルケン アライブ	ミニ英会話、畑作業 トイカプセル製作、紙すき



仕出し弁当の盛り付け(企業)



段ボール作業(B型)



ビルクリーニング(企業)



封筒作り(生活介護)



段ボール作業(生活介護)

児童生徒・保護者の皆様 小・中学部段階からの計画的な進路に関する情報収集をお願いいたします。夏季休業期間中の事業所への見学等を希望される場合は、学校へお問い合わせください。

高等部1 学年前期産業現場等における実習 生徒の声

私が校内実習で行った作業は、新聞紙バッグの本体作り、棒作り、土台の直し、説明書の封入作業、掃除です。最初の新聞紙バッグの本体作りは、作るのには慣れていたのですが、ミスが続いてしまいました。実習初日に、1時間目から6時間目まで、ずっと作業だったのが大変でした。次に、棒作りでは、棒が太すぎたりして、すごく細くならないようにするのは、とても大変な作業でした。慣れていくうちに、棒を作るスピードが上がってきて、とてもうれしかったです。私の実習の目標は、「新聞紙の棒を丁寧に合計23本以上作る」でした。達成できたのは、棒のつぶしが上手にできたことです。私の課題は、能率、確実性、挨拶・返事なので、これからは先生方に大きな声で挨拶を言えるようにしたいです。

(高等部1年男子)



粘土ちぎり



新聞紙バッグ製作



完成した新聞紙バッグ

高等部3 学年前期産業現場等における実習 生徒の声

私は5月30日から6月10日の2週間、幸寿苑に行きました。仕事内容は、リネン交換、物品補充、消毒下膳、洗たく物の仕分け、洗たくなどです。実習の目標は集中して作業に取り組むことと、言葉遣いに気を付けることでした。リネン交換が難しかったですが、シーツのしわが直せるように一生懸命頑張りました。しかし、実習が後半になるにつれて疲れが出てしまい、集中できないことがありました。今後の目標は、体力をつけ、疲れを態度に出さないようにすることです。そのためには休日に散歩をしたり、しっかりと睡眠をとったりできるようにしていきたいです。次の実習までに自分の生活を見直し、課題が改善できるようにがんばります。

(高等部3年生男子)



部品の袋詰め



シーツ交換